



©s.yamamoto

PROGRAM

モーツァルト:交響曲 第9番 ハ長調 K.73

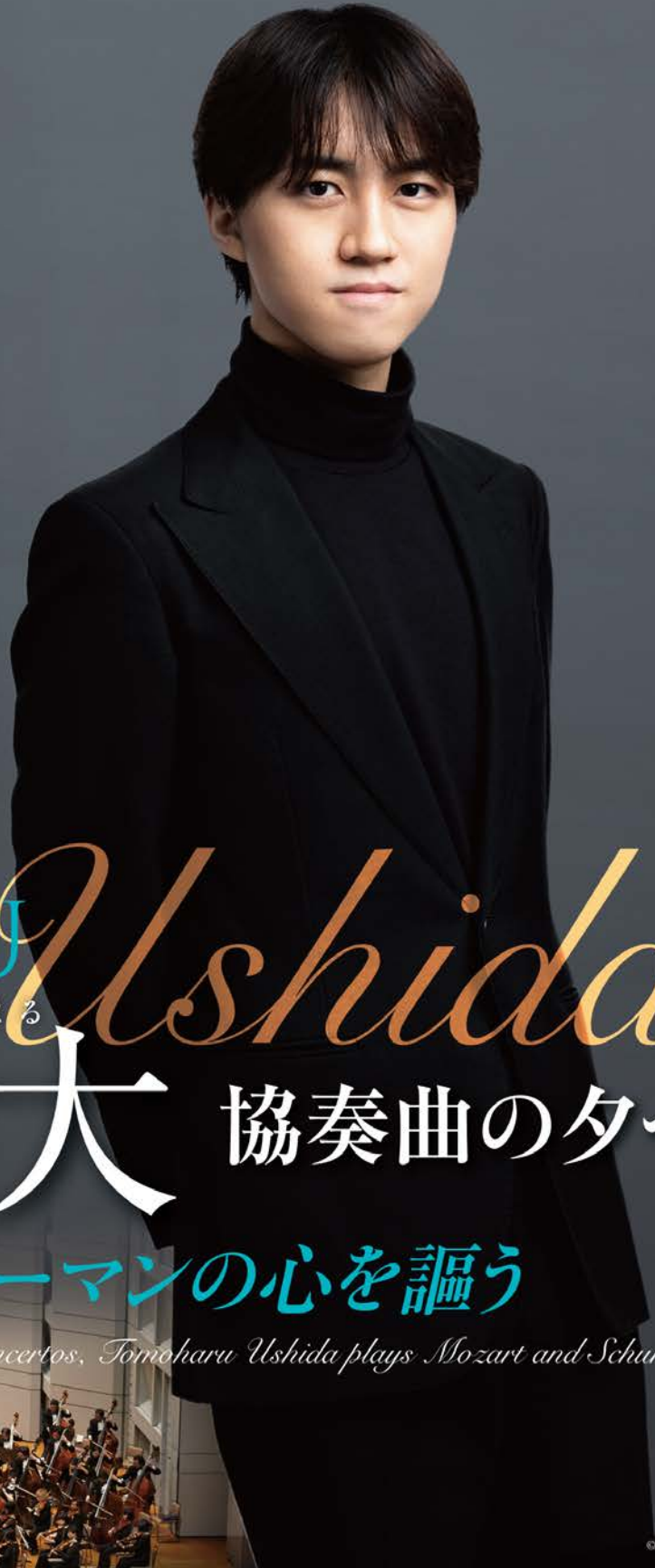
Mozart: Symphony No.9 in C Major, K.73

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 K.466

Mozart: Piano Concerto No.20 in D Minor, K.466

シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54

Schumann: Piano Concerto in A Minor, Op.54



TOMO HARU

ともはる

Ushida

大智田牛 協奏曲の夕べ

モーツァルト & シューマンの心を謳う

Concertos, Tomoharu Ushida plays Mozart and Schumann



©上野隆文

©Ariga Teruatsu

飯森範親(指揮) Norichika Iimori, Conductor
東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

2024. 9/3 (火) 19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
18:20開場(終演予定 21:00) 7:00p.m., Tuesday, September 3, 2024 at Tokyo Opera City Concert Hall 京王新線「初台」駅 東口直結 徒歩約5分

SS¥9,000 S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥3,000(税込) ※チケット料金には消費税が含まれております。 ※割引チケットにつきましては裏面をご覧ください。 ※先行販売等で満席になった席種は、以降販売されない場合がございます。

[お申込み] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp
◎ 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 ◎ チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:271-385] ◎ イープラス eplus.jp
◎ ローソンチケット l-tike.com [Lコード:35157]
主催:ジャパン・アーツ
文化庁 劇場・音楽堂等における 子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 文化庁

一般発売 6/22(土)10:00~
ジャパン・アーツぴあオンラインチケット
6月15日(土)10:00~

牛田智大がピアニストの真価が問われる2大協奏曲に挑む!

牛田智大は幼少期から圧倒的な才能を示し注目を集めてきたが、それに甘んじることなく常に技術を磨き、研究を重ね、「神童」から「芸術家」として大きく成長を遂げた。誠実に音楽へと向き合い、作品を通して作曲家と対話を重ねる姿には畏敬の念を抱くほどだ。

牛田が奏でる音楽には自己顕示や脚色は一切なく、常に楽曲があるべき真実の姿を届けてくれる。そして楽曲を通じて様々な世界や色彩、物語を描き出し、聴き手を音楽の旅へと誘う。

彼は昨年のラフマニノフ生誕150周年に《パガニーニの主題による狂詩曲》と《ピアノ協奏曲第3番》を一夜で奏でるという巨大なプログラムをやり遂げ、大成功を取めた。一時期はショパンの演奏に集中していた牛田だが、その経験を通して得たものは非常に大きかったようで、近年、ラフマニノフはもちろんドイツ語圏の作曲家にも積極的に取り組み、そのピアノイズムの深化は目覚ましい。

今回演奏されるのはモーツァルトのピアノ協奏曲第20番ニ短調とシューマンのピアノ協奏曲イ短調。いずれもピアノ協奏曲の傑作として知られる作品だ。デーモニッシュな雰囲気満ちたモーツァルトは音色の濃淡、オーケストラとの調和など、音数は多くはないものの、演奏者に求められるものは多い。しかしすでに先日のリーズ国際ピアノの第1次予選で演奏していたモーツァルトのピアノソナタにおいても、牛田は音色の多彩さ、そしてオペラ・アリアを想起させる歌心を聞かせてくれており、期待せずにはいられない。

シューマンのピアノ協奏曲はテクニックの難しさはもちろんだが、複雑な対位法とオーケストラとの緻密なやりとりが必要な難曲。シューマンならではの楽想の唐突な変化も見られるが、音で語る力の強い牛田ならではの魅力的な世界を届けてくれるはずだ。

共演は昨年に続き、共演者の魅力を引き出すこと長けた指揮者の飯森範親が率いる東京フィルハーモニー交響楽団。華やかな交響曲第9番が、今回の公演をより魅力的なものにしてくれるだろう。

長井進之介(ピアニスト/音楽ライター)

©Ariga Tetsuya

TOMO HARU

Concertos, Tomoharu Ushida plays Mozart and Schumann

Ushida

ともはる 牛田智大(ピアノ) Tomoharu Ushida, Piano

2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せてワルシャワ市長賞、聴衆賞を受賞。2019年第29回出光音楽賞受賞。

2012年、ユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。リリースしたCDは2015年「愛の喜び」以降、続けてレコード芸術特選盤に選ばれている。2014年からは海外オーケストラの日本公演のソリストも多く務めるほか、全国各地の演奏会で活躍。その音楽性を高く評価され、2019年にはプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管モスクワ公演や、ワルシャワ、ブリュッセルでのリサイタルに招かれた。

2019年に20歳を迎え、これを記念し2020年8月にサントリーホールでソロリサイタルを行い大成功を取めた。また2022年3月、デビュー10周年を迎えて記念リサイタルを開催。2024年1月には、トマーシュ・ブラウネル指揮プラハ交響楽団日本公演のソリストとして4公演に出演。人気実力ともに若手を代表するピアニストの一人として注目を集めている。

ロームミュージックファンデーション2023年度奨学生。江副記念リクルート財団第53回奨学生。

〈特別割引チケットのお知らせ〉(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付)

- ◎ シニア割引(65歳以上):SS ¥8,100、S ¥6,300、A ¥5,400でお求めいただけます。
- ◎ 学生割引(社会人学生を除く公演当日25歳までの学生):各ランク半額にてお求めいただけます。残席がある場合に限り、8月3日(土)10:00より受付を開始します。当日は学生証を提示のうえ、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴します。)
- ◎ 車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください〉①やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、チケット購入後のキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕をもってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。なお、就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売はトラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

飯森範親(指揮) Norichika Iimori, Conductor



©山岸伸

桐朋学園大学指揮科卒業。国内外のオーケストラを数多く指揮。東京交響楽団正指揮者、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督(GMD)等歴任。現在、バシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。

東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra



©上野隆文

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミンソフ、首席指揮者アンドレア・パッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ、自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、高い注目を集める。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

X(旧Twitter)でフォローする @japan_arts